

◎ シャングリラ旅行記

2021, 10, 20* 渡邊 晴雄

1, 始めに

*シャングリラへの憧れ

*旅行の計画と実行



2, シャングリラへの旅

① 麗江

•玉泉公園 •東巴博物館 •麗江古城
•雲杉坪 •玉龍雪山 •白沙村

② シャングリラ

•長江第一湾 •石鼓村 •虎跳峡
•松贊林寺 •納伯海
•東竹林寺 •シャングリラ高原
•シャングリラ古城

③ 昆明

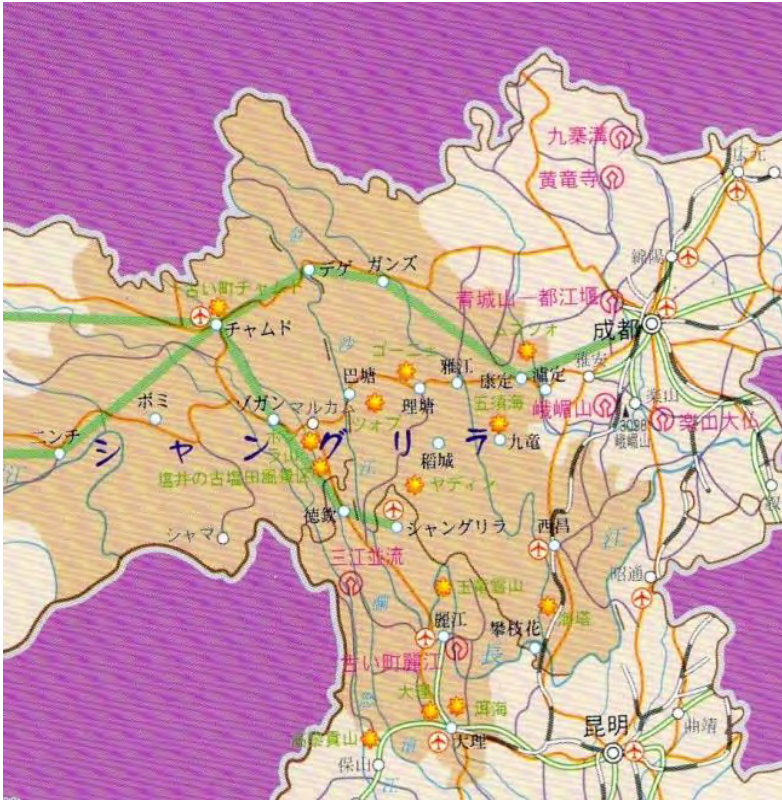
•石林

3, あとがき

1、始めに

*シャングリラへの憧れ

- イギリスの作家 ジェームス・ヒルトンが
1933年に『失われた地平線』を発表。
理想郷を求める小説はベストセラーになった。
- シャングリラは架空の地名だったが、それが
何処か？と場所探しが、行なわれていた。
2001年に中国雲南省の中甸が香格里拉
(シャングリラ)に改名認定されて決着した。
- 私はカール・ブッセの詩『山のあなた』から
理想郷への憧れを抱いていた。



* 旅行の計画と実行

◎ シャングリラ旅行を実行出来た背景

- 当時(2007年)は未だ、シャングリラはポピュラーな旅行先では無かったが、兎に角私が行きたい処だった。
- 中国での植林活動に関係した事から北京の中信旅游総公司与親密な関係が出来て金吉英部長がスルー・ガイドを引き受けてくれる事になった。
- 出身校の新潟県、三条高校乙組の同級生は仲が良くて、一緒に6回も中国旅行を楽しんできた。―― シルクロード、チベット、九寨溝 等
- 計画については、私が虎ノ門の中国観光局で情報を集め素案を作り、金部長と相談しながら最終案を決定する方式を採った。
- 旅行は乙組同級生関係の人達に限定したが、いつも15名以上の参加者が居たので、レベルの高い交通機関(バスは専用車)、ホテル、食事を適正価格で利用できた。
- 高地でのバス旅であったが、チベット旅行で高山病に悩まされた体験があったので、問題にはならず、旅を楽しむことが出来た。

2、シャングリラへの旅

① 麗江

- 麗江の人口は約110万人、ナシ族、チベット族、等の少数民族と漢族が住んでいる。
- 玉龍雪山から覆水で玉泉公園(黒龍潭)の池に流れて来た水は、大きな水車により4方向への小川に分流される。
- 麗江古城は、1997年に世界文化遺産に認定された。



- 麗江は標高2,400mの高地に位置
- 玉龍雪山、金沙江等の観光資源
- ナシ族は高度な民族文化を持つ

1) 玉泉公園 (黒龍潭)

池の水が玉のように青いので、黒龍潭とも呼ばれている。
天気の良い日には、玉龍雪山が湖面に素晴らしい姿を映し出している。
公園内には、多くの楼閣や亭が建てられている。



2) 東巴博物館

ナシ族の伝統文化を展示。(写真は躍る祭司と東巴古楽の楽士)
唯一の象形文字等、高い文化を持っていた。(次ページ参照)



* 東巴象形文字

表意と表音の表現を併せ持つナシ族の独特の文字。

世界で使われている唯一の象形文字で、東巴経の經典に使用。

印鑑を売っていたので、買ってきた。

- 渡邊(渡辺)の
東巴文字印鑑



右図は漢字との対照表



3) 麗江古城 四方街

四方街は麗江古城の中心で、茶馬古道の駅
ナシ族の踊りが見られる。

- 茶馬古道は昔から、チベットの馬と茶葉や日用品等を交易する重要な通商路だった。
- 少数民族は夫々異なった服装、風習等の文化を持っている。



4) 麗江古城の街路

麗江を支配していた木氏土司は町の城壁を作らなかった。自分の苗字“木”を囲ってしまったら、“困”となって縁起が悪いと、考えたからだった そうである。



- ・四方街周辺の旧市街区に住むナシ族の住居は、2階建て瓦葺きの木造家屋で間を細い石畳みの小路が 四方八方に伸びている。
- ・通りには五花石が敷かれていて、雨季には めからず、乾季には埃りがたたない
- ・ナシ族が所有していた建物等は、漢族の所有に変わってきていると聞いた。

5) 麗江古城、獅子山

高台の獅子山に登り、麗江古城(旧市街)を眺望した。
美しく、素晴らしい、瓦屋根の街並みが並んでいた。



6) 麗江古城、水辺の風景
“麗江は清冽な水の街” である事を実感した。

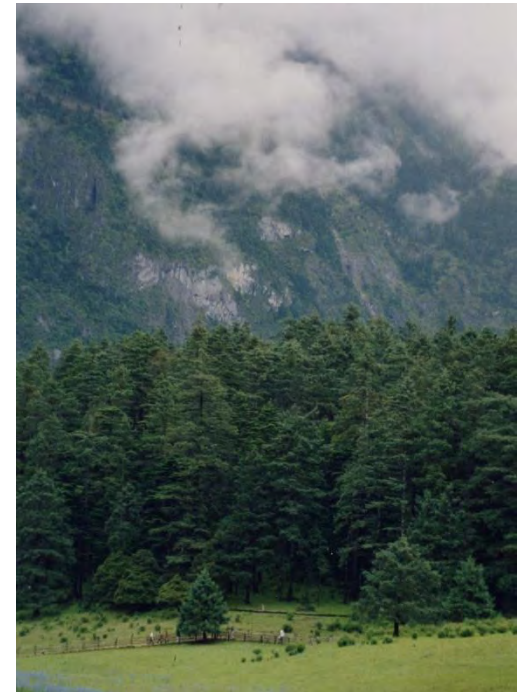


7) 『麗水金沙』 民族ショウ
中国で始めて観た豪華な民族ショウだった。



8) 玉龍雪山 (標高5,596m、)

- 夏には雲が出て、奇麗な玉龍雪山を見る事が難しいそうである。
- 麗江で宿泊した大港曜宝飯店で朝食の時に一瞬、玉龍雪山の姿が見られた。
- 雲杉坪(標高3,200m)に上ったが、右下の如く雪山は姿を現さなかった。残念。
- 下(左)の写真は、絵葉書からコピーした。



9)、白沙村

白沙壁画(仏画が主)を見に行った。

木氏土司が漢、チベット、ナシ族等の絵画職人を招いて描かせた絵である。



10, 長江第一湾

- 金沙江はここで崖に進路を阻まれて、360度向きを変える。
金沙江は岷江と下流の宜賓で合流し、長江となる。



11, 石鼓村 入口

石鼓村という地名は、漢柏玉で出来た鼓の形をした石碑があることから来た。
この石碑は、1561年に攻めて来たチベット軍を撃退した記念で建てられた。
村に入る吊り橋、入口の風情には親しみを感じた。



12, 石鼓村 “村人の競演”

村の入口の小屋で老人二人が、笛と胡弓の二重奏を演じていた。

演奏は良かったし、良い写真も撮れた。 チップを渡すことを忘れてしまった。



- 13、石鼓村、『単騎千里を行く』撮影地、
高倉健主演の映画が石鼓村で撮影された。
馬車が歩いているこの道の上に机を並べ、大勢の村人たちとの酒盛が映画の
1シーンとして、写されていた。



- 映画の筋ははっきりとは覚えていないけれど、高倉健が交信の途絶えていた息子(民族学者)の父親役を演じていた。
息子が病気になって“中国の京劇役者と交わしていた約束を果たす事が出来なくなった”との連絡が息子の嫁さんから入り、“代わりに中国へ行って、約束を果たす”というようなストーリーだったようだ。

14、虎跳峡

虎跳峡は金沙江沿いに伸びる15km、高低差約3,000mの大峡谷。
虎がこの渓谷を飛び越えたという伝説がある



- 少数民族の女性達

② シャングリラ

* 茨中天主教堂

シャングリラの茨中という静かな山村に、不思議な事だがカトリック教会がある。茨中にはナシ族、チベット族、漢族が住んでいる。カトリック宣教師がこの近くで布教を始めたのは、18世紀半ばで、1921年に教堂が完成した。ジェームス・ヒルトンは、この天主教堂から小説のヒントを得たようだ。



15, 松贊林寺

雲南省最大のチベット仏教寺院で、700人以上の僧侶が修行している。
寺院の創建は1679年に始まり、ダライ・ラマ5世の発願で規模が拡張された。

堂々たる寺院である。訪問時に
寺院の増築が行なはれていた。



松贊林寺 風景



金色臥鹿と法輪

16, 納伯海 — 標高3266m

シャングリラ最大の草原である。

雨季には10以上の川から水が流れ込み、湖の部分が広がる。

乾季には、緑が濃くなり、広大な放牧地となる。

- 納伯海は湿地帯
チベット族が放牧の為に
多数の家畜を連れて来る。
- 秋から冬にかけては、鶴,
白鳥, 鴨, 雁 等 多くの
渡り鳥が飛来し、鳥たち
の楽園となる。



17、爺と孫娘とヤク

突然爺が孫娘をヤクに乗せて現れた。
“ヤクに10元（約200円）で乗せてあげる” というオッフアーを受けた。
孫娘が可愛くて人気が高く、大勢の仲間達が喜んでヤクに乗った・
爺は金をしこたま稼ぎ、意気揚々として引き揚げて行った。
スマートな国際親善の一コマだった。



18, 東竹林寺

- 創建は1667年でカギュー派の僧侶16人だけだった。
- ゲルク派に改宗した後、信者が増えた。現在の建物は、1992年の再建。
- 我々が訪ねた頃は修行僧は300人だった。



19, 修行僧との交流

全く予期しなかった事が起きた。

修行僧の中に英語を話せる人が居たようで、仲間の笠原君と何やら会話していた。大多数のメンバーは、寺院の見物に行ったが、講堂に戻った時、“北国の春”の歌声が聞こえた。仲良くなって、希望されて笠原君が歌を教えたそうである。寺院を去る前に多数集まり皆で、“北国の春”を歌った。 気分爽快だった。



北国の春

白樺、青空、南風、
こぶし咲く、あの丘 北国の ああ北国の春
季節が都会では わからないだと
届いたおふくろの 小さな包み
あの故郷へ 帰ろかな 帰ろかな。

“ラマ寺に、北国の春 響きけり”

渡邊晴雄 作

20, シャングリラ高原

シャングリラ高原は、一番シャングリラらしさを感じた所だった。

遠くに雪山が薄く見えて居り、野原に綺麗な花が沢山咲いていた。

左下の写真は中国観光局の印刷物から借りたが、素晴らしい風情が出ている。

私は表紙の馬の写真と右下の少女の写真を撮ったが、全く敵わなかった。



21 梅里雪山(標高6,740m)

梅里雪山は6,000mを越す山が13座あり主峰はカゴボ峰で1991年に日中合同登山隊が遭難し、未だ処女峰 である。

秀麗にして雄大な山並みは、世界で最も美しい山の一つである。

梅里雪山を見たくて、徳欽の彩虹酒店に宿泊し、夜が明ける前に展望台へ、車で行き焚火による暖を取りながら、日の出を待った。

然し残念ながら雲は晴れず、雪山の全貌を見る事は出来なかった。



*** 梅里雪山 展望台**

展望台には仏塔(チオルテン)が立ち並び、祈禱旗(タルチョ)がはためいていた。
チベット仏教はインドから直接チベットに伝えられて広がった。

- 塔も祈禱旗もラマ教独特の文化である。



*** 梅里雪山の山容**

**美しい雪山を見る事が出来ず、絵葉書で我慢せざるを得なかった。
梅里雪山はシャングリラのモデルで、とても奇麗な山だ。**



22, 飛来寺

仏教、道教、儒教 と3つの 宗教を融合させた「三教合一」の寺院。

創建は明代の1614年。

梅里雪山で1991年に遭難した日中登山家17名を追悼する碑が建てられている。



23, 雲南省の棚田

シャングリラへバスで戻る途中、棚田があった。

雲南省では世界遺産になっているハニ族の 棚田 があるが、これもかなり大きな棚田だった。



- 棚田を過ぎた後、上橋頭村を通った。そこは“木造り村”大きなシャクナゲの幹から“お椀”を作っていた。

24, シャングリラ古城

シャングリラ古城を歩いた。

麗江古城とは比較にはならないけれど、面白い特徴は幾つか見つかった。

大亀山公園からはシャングリラ市街を一望出来た。



* 続 シャングリラ古城

- 織姫が、機を織っていた
布を買っておけばよかったかな？
- 3人くらいでないと回せそうもない
巨大なマニ車があり、回す度に中の
経文を読んだ事になっている。



③ 昆明

25, 石林

奇怪な姿の高さ20～30mの石柱が林立している。

2億7000万年前、石林は海底だった。地殻変動で陸地になり、雨や地下水の浸食作用で現在の姿になった。

イ族、ミャオ族が居住している。



・ 大石林



石林



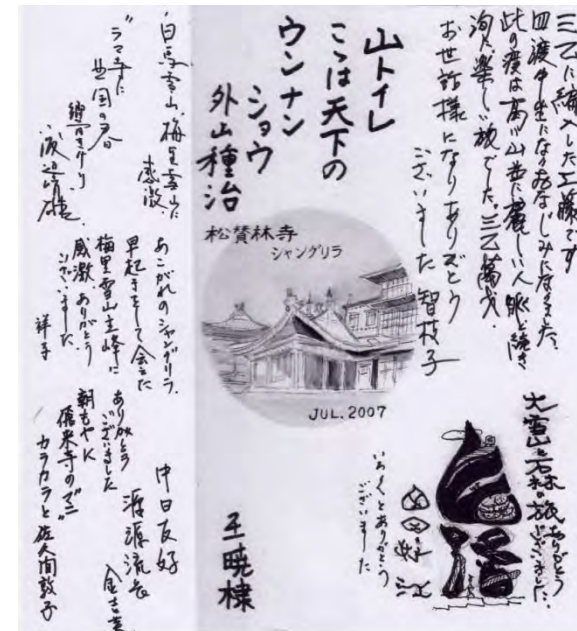
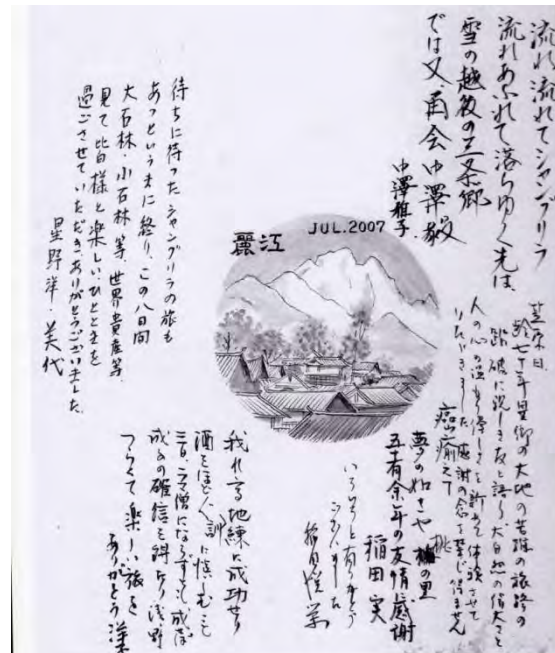
イ族の女性



3, あとがき

シャングリラは遠く、理想郷を探し求めての
長いバス旅には疲れたが、楽しかった。

良い旅だった。



シャングリラ周辺での旅
した。

丸く囲まれた所へは、別の旅を

都の近く)で植林をした。

他に、宜賓と雅安（成

